

水土文化研究部会 第20回研究会の開催（第1報）

（共催：山都町教育委員会）

（技術者継続教育機構認定プログラム申請中）

2023年9月25日、熊本県山都町にある通潤橋が、農業水利施設としては初めて国宝に指定された。これを記念して、水土文化研究部会は、通潤橋および通潤用水を対象に、現地での研究会を2024年6月21日（金）に開催する。1854年に完成してから170年間現役で利用される通潤橋は、持続的に利用できる様々な工夫が接続する通潤用水を含めてシステムとして形成されている。研究会では講演と現地見学会を通して、改めてそのシステムを確認するとともに、通潤橋のような農業水利施設に対する歴史的価値の評価や利活用のあり方等について議論する

※現地見学会では、バス等を利用して通潤用水の施設を回る予定です。そのため配車の都合から申し訳ありませんが参加募集人数を30人とさせていただきます。

※講演会では、会場の収容人員の都合から参加募集人数を40人とさせていただきます。

1. テーマ 通潤橋・通潤用水に見る〈水土の知〉

2. 日 時 令和6年6月21日（金）13：00－16：15

3. 場 所 熊本県山都町

4. プログラム

13:00 通潤橋駐車場集合

・現地見学会 通潤橋駐車場集合

【徒歩見学】通潤橋

【バス利用】通潤用水（砂蓋等の重要施設）

山都町教育委員会

14:35 講演会会場：山都町中央公民館（通潤橋から300m（徒歩5分））

・講演 「新田開発史における通潤用水・通潤橋の意義」

農業農村工学会・水土文化研究部会 広瀬 伸

「通潤用水・通潤橋の文化的価値と農業土木技術者に期待される役割についての一考察」

農研機構 島 武男

・総合討論

16:15 終了

5. 申込

・熊本市内から通潤橋までの交通手段

九州農政局前発（11：15発）・熊本県庁経由（11：35頃発）の貸切バスを手配します。帰路も熊本県庁（16：55頃着）経由九州農政局前着（17：15頃着）で運転します。貸切バスは無料でご利用頂けますが乗車定員は20人ですので、定員に達した時点で貸切バスの受付を終了いたします。なお片道のみ利用の場合はその旨お申し出ください。

貸切バスをご利用されない方は路線バス（桜町バスターミナル～通潤山荘線）をご利用頂くか自家

用車等でお越しく下さい。

・現地見学会(通潤用水)での移動手段

通潤用水の重要施設(小笹頭首工や「砂蓋」等)への見学はバスを予定しています。上記貸切バスをご利用の方は、特にお申し出がない限り、現地見学会での移動手段で貸切バスを引き続きご利用頂きます。

通潤橋駐車場発着のみの移動手段では山都町公用車を手配しました。通潤橋駐車場発着をご希望の方はその旨お申し出ください。この場合も無料ですが公用車の定員の都合で10人に達しましたら受付を終了します。

・現地見学会(通潤橋)および講演会の参加について

通潤橋での現地見学会および講演会の参加は無料です。

6. 申し込み・問い合わせ先

以下のA~Cのご希望を記載の上、下記までお申し込みください。

A:熊本市内からの貸切バス乗車の希望の有無(九州農政局前発か熊本県庁前発か記載)

B:通潤橋駐車場からの山都町公用車利用での通潤用水現地見学会の参加希望の有無(A:貸切バス利用の方は貸切バスで移動します)

C:現地見学会のみ、講演会のみ参加希望の有無

〒305-8609 茨城県 つくば市 観音台 2-1-6

(国開) 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門

農地基盤情報研究領域 地域防災グループ 上級研究員 廣瀬 裕一

Tel:029-838-7507 Fax:029-838-7609 Mail [kunika@affrc.go.jp](mailto:kunika@affrc.go.jp)

7. 参加申込要領

参加される方のお名前(CPD会員ならば併せて会員番号)所属機関、連絡がとれるメールアドレスおよび電話番号に加え、‘6. 申し込み・問い合わせ先’のA~Cをご記載の上、**6月5日(水)12:00までに上記申し込み先に申し込み下さい。**